

■ 第10回 神戸文学賞受賞作
連載小説△3△

海賊

塚田照夫 絵／辻 司

あたりに眼を配った。露地脇の隣家は、高い明かり窓がこちらに向いているだけで、あとは板壁である。裏はちよっとした淡竹の籠で、筍がもう今年竹になつている。三軒長屋の隣りとは、裏庭の板塀で仕切られて、人眼に遠い場所なのは都合がよかつた。

浜次は、鳥屋の床下から蓮を引き出し、鋤を取つてきて土に差した。土は軟かで浅かつた。近々に掘つて被せなおした土だとすぐにわかつた。ひと鋤で、金櫃の堅い感触が刃先に来た。罪科が露われて、父親と女房が縄つきになつたのなら、証拠の金櫃が残つてははずはない。その心配だけは確実に消えた。浜次は急いで土をはね除けた。

久しぶりに見る金箱だった。蓋を開けて見た。銀は、もとどおりいっぱい詰まっていた。なにか、ひと並びほど先に見たよりは減つてゐる気がした。

氣になりながら蓋を閉め、土を掛け、こんどは丁寧に蓮を述べた。

考えてみれば、金箱があるのは当然だった。さわもいことだし、どう狂つても、岩吉が金箱を掘りだしてどこへ移すとは考えられなかつた。

（なんでもなかつたたい。父つあアんな錢箱のちゃんどあるかどうか、確かめたかったとたい）

それも、蓋をあけて中味を見ないでは気がすまなかつたのだ。それは、搔きだした跡の残つた土の量でもわかつた。浜次は、父が哀れになつた。

が、ちよつと待てよ金箱を掘りだしたのが岩吉でなく、さわだつたとしたらどうなる。そして、もし、岩吉がそれに気づいたとしたら……？

（こら非道かことになるぞ）

浜次は勝手裏へ出てみた。しぜん鶏小屋の床下へ眼がいく。様子がへんだ。いつもとちがう。簾の子の下の蓮はゆがんでいた。一方の隅が手前にはみ出している。新しい土があたりにこぼれて、蓮の縁から土が盛りあがつてのぞいていた。

そこを掘つたことは、ひと目でわかつた。浜次は動悸が速くなつた。

唐人の金櫃を横領したことが役人に知れて二人とも連れていかれたかと、まず考えた。それにしても、浜次自身の身辺が静か過ぎた。何があつたのか。父親が異状なだけに、浜次の不安は募つた。

（さわの奴、どこに行つとるとか、バカタレが）居ても起つてもいられなくて、浜次は、家のうちを行つたり來たりしながら、とにかく近所ででも訊いてみようと戸口へ出た。

そこへ、浜郷の伊助が、息を切らして來た。伊助と顔が合ったとたんに、浜次は、何か大変なことが起つたと直感した。

「浜次、お父つつアンが変かぞ」

肩で息をしながら伊助は言つた。

「どこじや？」

「浜次わが家ン舟じや。一刻ン余も舟ン艤に坐つて、何

ンかブツブツいうちア沖ばかり見どる。あら変かばい」

「そうな？——さわは？」

「主婦さんな居らんぞ」

浜次は、それだけ聞くと、伊助に礼も言わずに駆けだした。普通ならば、「お父つつアンが変」と聞いたら、どう変なのか訊きかえすところだが、浜次は、そこは跳び越している。

(ああ、やっぱり)

そう思いながら浜へ走つた。

岩吉は、伊助が言つたとおり、磯に引きあげた自分の舟の艤に胡坐をかいて、海を見ていた。

「何んばしょつとかの？」

浜次が近づくと、岩吉はゆっくり首をまわして、鈍

い、白眼に赤味の浮いた眼を向けた。

浜次は、その眼を見ながら、

「そげんしとれば暑かるが。早く帰ろで」

と、そつと言つた。

「浜次な？浜次アお經ば知つとるな？」

岩吉は、あべこべに浜次に訊いた。

「お經？ナンミヨウホウレンゲイキヨウなら知つとるた

い」

（そらお題目たい。法華じやろが。そんならナミアミダブツがよかぞ。おどんたちのごたる(ような)者ンでん、

極楽に連れていくれらすちゅううど」

（おどんたちのごたる者ンでん）か。そやもんな。法

度破りの海賊のごたるものんやもんな、おどんたち）

浜次は、ちょっとシンミリした。

岩吉は、白いのか鼠色なのか文目のはつきりしない布片れの、ザボンくらいの大きさの包みを胡坐のなかに抱えている。布片れは浜次に見憶えがあつた。指さして、「何な、そら？」

と、こんどは浜次が訊いた。

「これな？」

岩吉は包みをさすりながら、

「こらよかと（なんでもない）。さわに貰うた」と言い、正面に瞳をもどした。眼は遠い海を見ていた。

「和島のよう見ゆる。墓ン瀬も見ゆるぞ」

「ここから墓ン瀬の見ゆるわけアなかろもん」

浜次は、あわててあたりを見まわした。土坡の上の人家の軒下に三、四人集まって、何か話してはこちらを見ているが、そこまで岩吉のことばが聞こえる気づかいはなかつた。伊助が、こっちへ來るのが見えた。

「見ゆるぞ、ほら。よう見ゆるたい」

岩吉は指を上げて海の方を指差した。その指先は細かに震えていた。

「さわはどげんしたとな」

浜次は、不安を声にして聞いた。岩吉の返事をはつきり聞くのが恐ろしかつた。

「さわな？」

岩吉は海へ向いたまま呟くように言つた。

「さわはな、長崎鼻ン山崎道の椿ン樹の下に寝とる」

「寝とるテ、山崎でな？……父つつアン、お前ア、さわ

ばどげんしたとな」

浜次は、脚を宙にして船縁に跳びつき、手を伸ばして

岩吉の股間の包みをつかんだ。さわつただけで、中身は銀塊だとわかつた。

岩吉は浜次の手を払いのけて、

「さわは寝してしたもん。寝てしまたけん、そいで

懐からこいば貰うて來たとたい」

股の包みをなんども叩き、

「さわはよう寝とつた。早う行つて起こしてやらんと、

日の暮れても帰らんとなるばい」

と、抑揚のない声でボソボソと言った。

浜次は、牀じゅうの血が凍つた。やにわに、宙吊りの
躰のまま船縁をよじのぼり、岩吉の包みをもぎ奪ると、
舟板の端を少し持ち上げて活け簃へ投げこんだ。小さな
水音がした。浜次にはほかの処置のしようが、急には思
い浮かばなかつた。

すでに七ツ（午後四時）をすぎている。まだ夏の終わ
りで、日は長いといつても、長崎鼻の山崎ン森までは、
ここから一里半（六キロ）はある。

「どうがんな？」

伊助が来て、浜次と岩吉を交互に見上げた。

浜次は、それには答えずに岩吉へ、

「お前アバカか、こン気狂いが」

と、仁王立ちに喚いて、伊助には、

「こげん気狂いは、ほっといてよかぞ」

言い言い舟を跳び降り、砂を蹴って走りだした。

その背中を横眼に見ながら、岩吉は、

「せつかくさわに貰うた物ンばのう——。ナムアミダブ
ツ、ナムアミダブツ」

と、くりかえし唱えていた。

五

さわは、ほんとに長崎鼻の上ン山の、椿の古木の下で
死んでいた。岩吉が言つたように、寝ているようなさり
げない姿であった。襟首を締めあげられていた。

山崎というところは、名のとおり山の先で、そこから
まっすぐに五島灘へ雪崩れ落ちてゐる。山裾は、狭い砂
州と、八幡瀬などの岩塊の瀬に縁どられてゐた。全山原
生林に覆われ、松や杉やあこうの樹にまじつて、どうし
てか椿が多かつた。

さわは、そのうちの一本の椿の根方に寝てゐたのであ
る。

山蛭がいた。猪や蛇も出た。男でも、一人では、昼で

さえ山越えをためらう場所である。

獸道ほどの、徑とは言えない徑が密林を縫つて、むか
し遠見番所のあつた番所山へ向かい、山の麓の峠を下つ
た下山部落がさわの出生地だった。

さわは、そこへ帰る、というより逃げるつもりだった
のだろう。そして行きがけに、銀塊のいくらかを古布に
包んで、盗み帰ろうとしたのではなかつたか。

浜次は、さわがいじらしかつた。可哀そだと思った。
それを、父親岩吉は、どうした順序でだか知つて追い
かけ、追いついて、とうとう殺してしまつたのだ。そし
て、一本の椿の古木がさわの墓標になつた。

浜次は、さわの脇にベタンと膝を折つて坐りこみ、オ
イオイ声をあげて泣いた。

日は背後の山の端に隠れてゐるので、灰汁色の闇が杜
の樹々を塗り籠めはじめていた。時刻では、まだ残照の
頃、おいでもないのだが、ここには木洩れ明かりさえ射さ
なかつた。

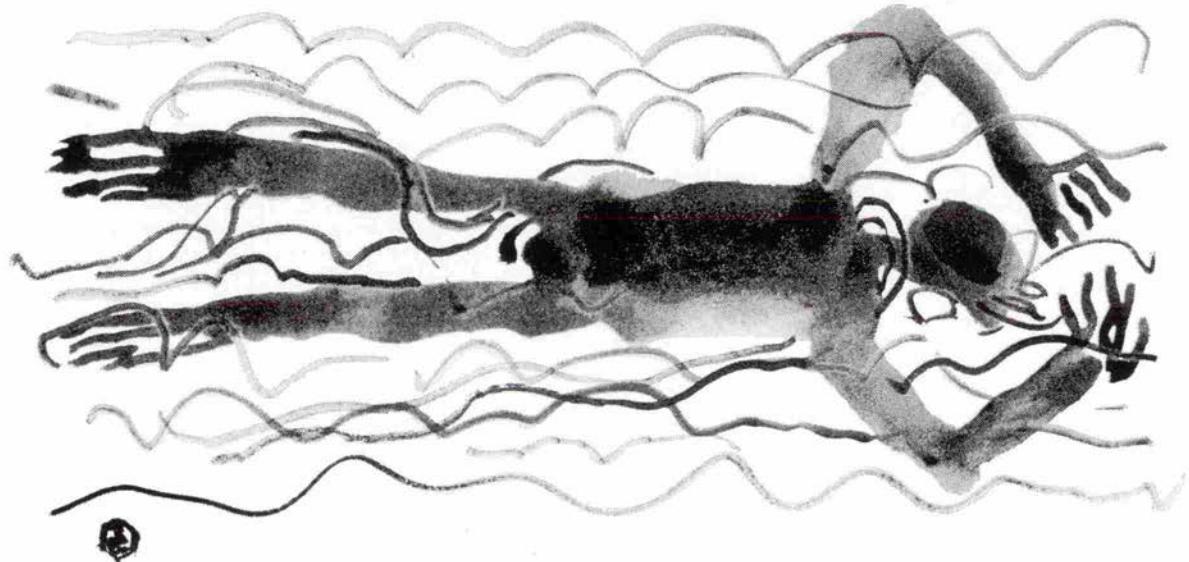
「三年奉公」で苦労するより、その方がましにやつた
とたがな、さわ。お父つてアんな狂うとつとじや。勘忍
ぞ。勘忍ぞ、さわ」

浜次は、さわの半身を抱き起こして、泣き口說いた。

浜次が、さわに訴えている「三年奉公」というのは、
この十年ばかり前から、五島藩に始まつた独特的の制度
で、出戻りや、百姓・町人・漁師の次女以下の娘は、家
中の武家に奴隸のように無報酬で働かされる定まりで、
財政の苦しい藩の窮余の策だった。他藩にない暴政で
『三年奉公』の女の入水自殺が絶えなかつた。

さわが、夫浜次の家を逃げれば、出戻りになるわけだ
から、当然『三年奉公』の責めを負わなければならな
い。それでもさわは逃げたのである。

「そげん辛かつたとな、さわ。そんうちにア、ちゃんと
話しばしようテ思つとつたとぞ。恐ろしかことじやけ
ん、さわは知らん方がよかテ思つたりしてな。そいでグ
ズグズしつたみたい。済まんやつたな、さわ。そらア、



知つてん罪、知らんでん罪じやけん、どうもならんばつてん、知らんで科ば受くるよか、知つとつた方が諦めんつくもんな。ばつてんさわは、知つたとたん、怖ろしゆうなつたとじやろ。おいどんさわに隠しとるし、父つアんは氣の狂うてしまふし、さわは、どげんしようもなかつたとたいな。そいで逃げたとたいな。逃げて、逃げて……、狂うた父つアんに知れて、そして……」

浜次は、ようやく硬くなつていくさわの死体を揺さぶつて泣きつづけた。

さわは我慢ならなかつたのだ。どのみち国禁を犯した大罪に連座する。としたら、どこか醒めたところのあるさわのことだ、「おそれながら」と申し出で、「三年奉公」の辛さだけでも免れようと決心したのか知れなかつた。とにかくさわは切羽詰まつた。あげく、汚れた古布に包んだ少しばかりの銀を、証拠だか手土産だかにして、実家へ帰つて相談しようと思つたのだろう。どちらにしても、さわにえらべる道はなかつた。それを、父つアんな、追いかけて、つかまえて、そして殺して、銀の包みを取り返した。

「勘忍ぞ、さわ。勘忍な」

泣きじやくりながら浜次は、うしろ向きになつて、さわの両腕を引つぱつて、山の傾斜を登つた。

径から少々外れたところでさわを寝かせ、胸で両手を合掌させた。さわの指は、堅くなつていた。

まわりの落ち葉や枯ち葉を手で搔いて、さわの冷たい躰を覆つた。そして、いつまでもその枯れ葉の山に顔を埋めて、肩を震わせていた。

西空の残照がすっかり消えて、とっぷり夜になつてから浜次は家に帰つた。

岩吉は帰つてなかつた。浜次には、もうどうでもよかつた。

「勝手にせえ」

岩吉の敷き放しの蒲団に膝を立てて坐つた。まるで腑

抜けている。灯も入れず、空腹もおぼえなかつた。

「帰つたかの？」

向かいの女房のヨシが、腰高の表障子を開けて土間にはいってきた。

「灯なつとつければよからうに」

「戸外にも誰かいるようだつた。」

「あのなー」

遠慮がちにヨシが口を開きかけたとき、屋までの伊助が土間にはいってきた。戸外の者と何か話し合つていてようだ。ヨシのあとを引き取つて言つた。

「あれからな、親父どん、ひとりで舟を出しそよてな。おどんたちの知らんうちにじや。ちょうど上げじやつたけん、舟の浮いとつたもんな。氣のついたら、浜におらんやつたとたい。舟だけ流れたとじやなかろうかテ思うて、ここまで知らせに來たとばつてん、だアれもおらんやつたとたい。そいで……」

「そうな」

浜次は氣のない返事をした。

「こいや暗うして話の見えんたい」

ヨシが勝手に上がりこんで、縫石に三角の火打ち鋼を打ちつけ、煤けた行燈に灯を入れて、

「さわどんなどげんしたとな」

と浜次に訊いた。

「あア？ ああ、下山にいっとき帰るちゅうて」

里帰りしたと、浜次はごまかした。

「そうな、そうじやろな。父つつアんのお守りで、さわどんもきつかつたけんな」

ヨシは律義に、また土間へ降りた。

伊助が、それ待つていて、

「いまからじやどげんもならんけん、あしたン朝早うみんなで搜しに出よう、相談しよるたい。どげんな？」と浜次に言つた。

「あア、すまんな。しょんなか親父じや」

言いながら浜次は、岩吉の行つたさきに見当がついて

きた。和島の蔓瀬だ。まちがいないと思つた。
しかし、月はあるにせよ、集魚の篝の用意もなしには、夜の海は危い。昼間のまま、岩吉は家へ帰つてないのである。

（面倒ばっかし、ようつぎつぎにあるのう）

浜次は、考える力が失せていきそつた。

翌朝早く、東が水色に明かるむころ、岩吉捜しに加勢してくれる浜の者が、十人ほども集まつた。浜次は、その一人ひとりに、「すまんこッで」「どうもな」と頭を下げてまわつた。

六艘の漁船に分乗して、多郎島と和島のあいだの海を見当に漕ぎだした。浜次は、伊助の舟に乗せてもらつた。乗るとすぐ浜次は、

「蔓瀬におどんば揚げてくれんな」と、伊助に言つた。

「あてのあるとな」

「あア」とだけ浜次は答えた。

海はべた夙ぎである。湊を出ると、多郎島が手前から沖へ長く、その左に少し遠く和島がある。舟の半分は多郎島の近くへ散つてつた。伊助は、まつすぐに和島へ舳を向けた。近くにいた一ぱいが、手を挙げて合図をし、和島の裏へ向かつた。和島を周つてみるのである。

伊助と浜次で漕いで、蔓瀬の岩の露頭に舟を寄せた。潮は干いている。浜次には憶えがある。二月ほど前に来たあの場所だ。舟の筋いは伊助にまかせて、浜次は岩へ跳び移つた。前のときおなじに、浜次は、四つ遅いになつたり、よろめいたりしながら岩の高みに登つた。登りつくと、かつての、洞門になつた岩間の淵を覗いた。

岩狭では、海がゆっくり左右に揺れていた。岩吉は、両脚を松葉の形に括げ、両腕は川蟻の股のように頭上に挙げてうつむきに浮き、波の動きに合わせて動いていた。浜次の記憶にいまも鮮烈に焼きついている、あの突

き出した海中の岩の上であった。

(居らん。唐人どんのおらん)

浜次は涙の底に瞳を凝らした。海は底まではっきりと

見えた。唐人の姿はなかった。

しかし、それは当然であった。浜次が最後の唐人を見たのは、ふた月も前のことである。唐人の屍骸は、すぐには草履虫に喰われ、魚貝に突つかれたり吸われたりして糜爛し、白骨になつて四散していくも不思議はない。浜次は、そこまで考えが及ばない。あのときの、あのままの唐人を海中にさがしているのである。そして――

(居らん)

浜次は呆然となり、脚の力が脱けて、そこへ坐りこんだ。

(唐人どんなどげんしたとな)

何かのはずみで繩がほどけて、生きのびたのではない。すると、夜ごと家へやってきて岩吉を怯えさせ、狂わせたのは、あれは本物の唐人だったか知れぬ。浜次の上下の歯が、口のなかでカチカチ鳴った。

「こらいかんぱい」
浜次の頭越しに伊助が首を伸ばし、洞の渕に浮いた岩吉を覗きこんで言つた。

「ありやつ、あら白蛇じやなかな」

伊助のいうとおり、うつ伏せに浮いた岩吉の腹の下から、白蛇がゆらめきのぼつて、その端が岩吉の首に捲きついていた。それは、白蛇にもまごう一本のマニラ・ロープであつた。

マニラ・ロープの持つ意味は、岩吉の死んだいま浜次しか知らない。白いマニラ・ロープの蛇に気がつくと、浜次は、突然岩塊を拳で叩き、喉を破るような声をあげた。

「もうよからうが、唐人どん。もうよからうが、あ、あ、あ――」

浜次は狂ったように泣き、喚き、首を振り、握り拳でいつまでも荒あらしい岩の塊りを殴りつけた。手の甲

は破れて真っ赤になり、血があたりに飛び散った。
伊助はギョッとなり、あわてて浜次にむしゃぶりついた。

「浜次、やめんか。どげんしよんなかろが。浜次、やめろ。なんな、そん唐人どんちゅうとは? 唐人どんのどげんしたとな。やめろ、浜次、やめんか」

助つゝ人を求めて、伊助は瞳をあげた。和島の裏へ回つた一艘の伴舟が、二艘になつて和島の鼻へ現われた。漕ぎ手は一人ずつになつていて、流れていた岩吉の捨て舟を発見してつれてきたのだ。

伊助は、そっちへ手を振つて、こっちへ来いと合図した。

「唐人どん、もう勘忍してよかろが。な、唐人どんよお」
浜次は、ヨモギの葉を漬して腫れあがつた両手の疵に押しつけ、ボロ布れで捲いていて、手がつかえなかつた。そのせいばかりでなく、すっかり空虚てしまつて、なんの役にもたたなかつた。

六

岩吉の弔いは、浜と職人郷の人たちですませた。

浜次は、ヨモギの葉を漬して腫れあがつた両手の疵に押しつけ、ボロ布れで捲いていて、手がつかえなかつた。そのせいばかりでなく、すっかり空虚てしまつて、向かいのヨシが案じて訊くのだが、浜次は、「よかろ」と、何かとり落としたよう言い、

「葬レン(葬式)のすんだら、下山に行こ思うとするけん」と、つけ加えた。

(続く)

筆者紹介

大正6年生れ。日本大学芸術学部卒。中華映画、教員、市会議員、予備校校長を経て現在「南蛮海流」代表同人。長崎市在住。



母の子と

「子」は思
いがけない
ところで：



小小楠貝柏嘉嘉金鬼小岡牛榎石石乾青朝
比泉磯本原井納納井塚野崎尾並田阪野木奈
徳良憲六健毅正元喜一吉正春信豈重
八
一平吉一一六治彦郎夫忠朗一一生一彦雄隆

外竹津高陳田田田田滝滝角砂塙新司佐坂上
島馬高橋 崎辺中宮川川南田路谷馬藤井林
健準和 舜俊聖健虎勝清猛重義英遼時英
之 一 吉助一孟臣作子郎彦二一夫民孝夫郎廉忠一

神淀行元百村宮宮三松松福西灘成南難中直
戸川吉永崎上地崎木井井富村本瀬部波西木
百年会議長哉定辰正襄辰良高一芳 唯香圭 太
商店会治女正雄郎二雄一男郎美功人梅三還勝郎

★「初心忘却の時代へ」から「どううつる」が、はいがつも原点に立ち返ることのできる謙虚さと勇気をもたなければ芸は磨きがかかるないということである。これこそ進歩の母なのである。神戸のファッショントレーニングは近頃、かは怪しげなる現象。これは大悟番、一気に原点に返り明日のエヌルギーを貯えるべきだ。▲小泉康夫さん

★発行にいろいろお世話いただいた方々

六甲オリエンタルホテル
六甲山ホテル
六甲スカイヴィラ
神戸チサンホテル
ホテルプラザ(大阪)
ホテル水上
パレス神戸
花ホテル

★定期購読のお申し込みは
1年分 5500円
郵便振替口座 神戸6-451

★神戸市灘区
 雄倉書店
 南天莊書店
 啓文館
 ユーカリ南天莊
 ブックス六甲
 ブックス六甲
 A Z
 白樺書店
 ケイガ堂
 朝日屋ボーアイ庄

廣文館	日本圖書明治書店
神戸市北区	漢口堂西鈴蘭台店
★大阪市	吉村書房
紀伊國屋書店梅田	群文館
誠心堂書店	★姫路市
	三耕堂

●編集後記

★「初心忘却の「へからだ」、といううらやましいのはいつでも原点に立ち返ることのできる謙虚さと勇気をもたなければ芸は磨きがかかるないということである。これこそ進歩の母なのである。神戸のファッションも最近は大きさが怪しげなところには大悟番、一気に原点に返り切り明日のエネルギーを貯えるべきだ。

た若い経営者達に取材した。「こちで儲けて、これが給料や」と彼は社員達にもオーブン。さすがに企業家は炎やかだな。『米沢の北野ドリーア』は続いている。いつまで夢多き街、夢人を生きたいんですね。【新潟川】

●神戸っ子は左記の書店で

芸事 三宮ブックス 千種書房 ★西宮市

★免行所・神戸っ子編集室
神戸市中央区東町1-3ノ1
大神ビル9階
電 078-(331)2246(代)
FAX・078-331-2795
領価380円 送料70円

★「寝るのが嫌いなぐらいの人にやるのがファッショーン」と座談会での立衛先生の大胆なご意見に、寝る先生のは好きです。△新井邦夫

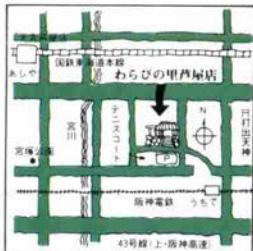
た若い経営者達に取材した。「こちでまだ儲けて、これが給料や」と彼は社員達にもオーブン。さすがに、まだの企業は炎やかまだない。「米沢市へも連絡して、北野ドリームを続ける三浦さんへも連絡する。いつまでも夢多き街、夢人で生きりたいですね。」（△川口メモ）

★映画「火のため神し」した岩下志麻さんの目があたりに思えて悲然自失。周囲に及ばず圧迫感が本物の本物たる所以と理解。（西村）

★企業や小売店の30代、40代といふ年齢層に人気の書店

- ◆ 広文館
◆ 日東館・垂水店
- ★ 神戸市北区
◆ 漢口西鉄蘭台店
- ★ 大阪市
◆ 伊国屋書店梅田
- ◆ 誠心堂書店
- ◆ 三耕堂
◆ 斎路市
- ◆ 詳文館
◆ 吉村書房
- ◆ ブックスアルフア
◆ 加古川市
- ◆ 森林書店

彩の吹き寄せ——秋の味覚



京懷石 5,000円より
松花堂 3,500円(午後2時迄)

■芦屋店
芦屋 .. 打出小船町30
TEL (0797) 23:5666
営業時間 .. 午前11時~午後10時(駐車場有り)
京都本店 .. 京都・山科区小山中島町28
新宿店 .. 東京・新宿区西新宿2丁目4の1
TEL (03) 3498789

■京料理
わらびの里

「食べて健康をつくる」

美味の散歩道

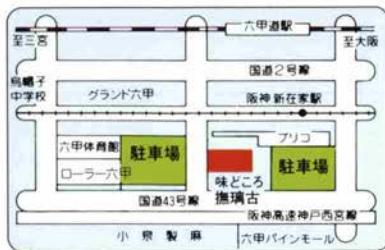


古来より珍重されて来たスッポン。我が国では、登呂遺跡から食物としてスッポンが出土し、西鶴の「好色一代男」にもスッポンの話が出ています。スッポンは滋養、強壮に良いといわれ、増血に効果があります。また、良質のタンパク質やアミノ酸が豊富で、脂肪もコレステロールがないといわれている不飽和脂肪酸を持っています。中国では「医食同源」として、スッポンを信奉し、宮廷にて多く食され、その食生活史は五千年にも及んでいます。

味どころ 桜璃 古

神戸市灘区新在家北町1丁目1番
TEL (078) 841-9555

- 営業時間 / 午前11時30分～午後10時
●午後2時から5時までは、喫茶だけでもご利用いただけます。
●仕出し・ご宴会のご予約も受け賜ります。



神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
布引店 231-6303 三宮店 323-3003 住吉店 453-3737
兵庫駅前店 575-5306 ポアーア店 303-1188
ポートアイプラザ店 303-3232

北海道郷土料理 **蝦夷**
中央区中山手通1-4-13 331-7770
東門筋東門会館ビル1階

和食 **くれない**
三宮生田新道浜町中央KCBビル2F 331-0494

料亭 **布引大しま**
中央区熊内町4-8-19 221-1945

たこ焼 **たちばな**
三宮センター街(旧柳路) 331-0572

民芸物食事処 **五事**
元町3丁目山側 391-3156

炭焼やきとり **トリドリ**
中央区北長狭通2-5-1 391-3028
ダイシサンセッピル2F

そば打ちうどん **木曽路**
フラワーロード市役所前KEビルBF 231-1295

どじょう呑 **呑作**
中央区元町通2-7-20 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ **十三間堂**
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

割烹 **銀坐**
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

手打そば **つる庵**
市役所花時計北・ハニービルB1 331-0260

季節茶屋 **一輪一房**
中央区三宮町1-8-1 331-2280
さんプラザB1F

天ぷら **天ふじ**
中央区下山手通2-11-24 392-3630
金ビル1F

SAKE & KAI SEKI **喜兵衛**
中央区中山手通2-1-1 242-5411
コーナーハウス2階

懷石料理 **馳走**
中央区中山手通4-26 222-6022

蟹すき **千石船**
さんちか店 391-4875 山手店 391-9314

活伊勢海老料理 **中納言**
神戸プラザホテル店 331-7918 元町東店 392-1685

懷石料理 **樂珍**
阪急西口店/阪急三宮西口北レインボープラザ3-4F 321-5200
神戸三宮会場/神戸三宮生田筋 西村ビル3-3-F 333-1717

蝶料理 **青柳**
中央区元町通3-63 331-2292

★各国料理

レストラン **やまと**
中央区生田町1-4-20 242-2020F

レストラン **鹿皮くあらかわ**
中央区中山手通2-15-8 221-8547-231-3315

ステーキハウス **グリル青山**
中央区下北町2-14-5 (アロード) 391-4858

スカンジナビア料理 **ゴッククスタッド**
中央区本通3-1-2 回教寺院前 242-0131

スティーカウンタ **果林**
神戸プラザホテル2F (元町駅南) 331-4558

すていきハウス **長崎扇**
神戸市中央区布引町2-3-16 221-1086

レストラン **花扇**
中央区元町通1-3-6 レビル2F 331-8911

北イタリア料理 **ピストロドウリヨン**
中央区山本通2-13-6 221-2727

フランス料理 **麻布キャンティ**
中央区北野町4-1-12 黄人館俱楽部 222-5380

ボリネシア料理 **フイッシャーマンズポート**
神戸港第4突堤ボートーミナル 331-0301

シーフードバー **ムーニークルーズ**
三宮・生田筋 331-8980

喫茶・レストラン **カフェパウリスタ**
三宮・トアロード (パリスピルB1) 391-0061

ステーキハウス **れんが亭**
中央区下山手通2-5-5 331-7168

BARBECUE & STEAK **六段**
中央区元町通3-8-4 331-2108

フランス料理 & 神戸ビーフ **レストランフック**
中央区宋町通2-9-11 321-3453
321-3207-332-4129

フランス料理 **グラシア二**
北野異人館通りロースガーデン山側 242-0597

ドッグレストラン **ハイデルベルグ**
中央区山本通2-8-15 222-1424
ローズガーデン2F

ドッグラン・コピーブック **ローテ・ローゼ**
中央区北野町4-9-14 222-3200

韓国宮中料理 **鳳仙**
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスルビル6F 391-2147

スペイン料理 **エル・ソル**
神戸市役所前・フラワーロードビル1F 東側 232-3636

シルクロード料理 **ぶはら**
スパイスレストラン
三宮町2-3-9 タキビル2F 331-1734

神戸ビーフ登録指定店 **和黒くわっこく**
三田肉質品評会議会 中央区中山手通1-24-1 222-0678
指定店 ピルサイドテラス1F

スコット&ローストビーフ **ガスライト**
神戸ワシントンホテル9F 331-6111

フラメンゴとスペイン料理 **エル・パンチョキタノ**
中央区北野町3-2-4 241-1344
アンドリード・マンション1F

中国料理 **萬壽殿**
中央区中山手2-20-4 231-4531

フランス料理 **ル・サロメ**
中央区中山手通2-3-7 392-1251
第2六門ビル1F

北イタリア料理 **ペルゲン**
中央区山本通2-3-2 241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT **ニューミュンヘン神戸大使館**
三宮生田ロード 391-3656

ステーキハウス **伊藤藤**
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F 232-3031

炭焼ステーキ **GOONY KITANO (グニー)**
中央区北野町4丁目 242-2562

神戸風レストラン **能芭亭**
中央区北野町2丁目1-10 291-0661

フランス料理 **シャンテクレール**
三宮ターミナルホテル4F 232-1682

フランス料理 **トウルドール**
中央区諭訪山公園展望台 241-0168

ステーキ&ドリンク **神戸館**
中央区下山手通2-2-9 321-2955
アマツビル1F

広東料理 **神戸元町別館牡丹園**
元町通1丁目協和銀行北側小路西入
331-5790-6611

レストラン **ラ・ターブル**
中央区宋町通3丁目3番8号 (パリスピルB1)
241-3170

海老料理 **伊勢工ビ屋**
中央区北野町4-6-8 222-0766

★喫茶 **たちばな**
中央区元町通3-9-2 391-1051

サロンドティ **力レツト**
元町一番街 321-1739

カブードラセール **セールル**
新聞会館1F 221-8155

喫茶 **ガーデニア**
中央区東町113-1 大神ビル1F 321-5114

中央区三宮町3-8 大和ビル 392-4004

LE CAFE **ガレ**
中央区山本通2-3-14 242-7144

宮水のコーヒー **にしむら珈琲店**
中山手店・中央区中山手通1-26-3
221-1872-231-9524

三宮店・國鉄三宮駅山側 **三宮店**
センターハウス・中央区三宮町10-27
391-0669
北野店・山本通2-1-20
242-2467
(会員制) 3F事務所
阪急・三宮東口山側 332-5727

珈琲モーツアルト **モーツアルト**
中央区山本通2-6-11
グランドマansion1F 241-3961

珈琲 **くん**
中央区三宮町2-9-6 (アロード) 391-1589

喫茶 **英國屋**
神戸国際会館浜側 251-4562

喫茶 **葡萄屋**
三宮センター街3丁目 391-9006

喫茶 **佛蘭西屋**
三宮・フラワーロード (神戸市役所前) 232-4643

デザート喫茶 **ぶどうの木**
三宮・フラワーロード (神戸市役所前) 251-3231

ウェーブ菓子 **モーツアルト三宮**
中央区岡山通8-1-29 251-3616
カサバパビル1F

ウェーブ菓子 **モーツアルト元町**
中央区三宮町3-1-3 332-0886
神戸大丸山向い

茶所 **ナイル**
中央区下山手通6丁目2-7 341-7376

珈琲 **モンブラン**
フラワーロード市役所前KEビル1F 231-3605

コーヒーラウンジ **カフェ・ド・パリ**
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP **ファミリア北野坂ハウス**
中央区北野町2-8 222-3535

純喫茶 **元町サンストス**
中央区元町通3-2-12 (元町通1番街沿側) 331-1079

コーヒーラウンジ **City of City**
中央区三宮町3-9-1 331-1117

ティー＆スナック **工ボツク**
中央区元町通3-8-8 (浜側) 331-3694

喫茶 **テルミニ**
中央区元町通1-2-10 大和ナイトプラザ2F
332-1682

炭火焼前堺 **珈琲俱楽部**
神戸市中央区北長狭通1-10-6 (生田筋)
ムーンライトビル1F 332-2016

炭火焼前堺 **萩原珈琲店**
神戸市中央区中山手通2-21-3
222-1457

Salon & Cafe **BLUE MOUNTAIN**
神戸市東区八幡町4-6-16
(阪急六甲駅下車JR西南約3分)

TEA LOUNGE **T / O / A**
神戸市中央区下山手通3-1-15
331-4412

ブルーフィッシュ **ペニーマン**
神戸市中央区北長狭通4丁目3番24号 331-8584

★CLUB

club 飛鳥 **飛鳥**
中央区中山手通1-2-6 331-7627

club 小万 **小万**
中央区東門町島ビル3F 391-0638-4386

Member's Lounge **異人坂**
中央区北野町2-9-22 (三本松不動北) 222-2001

club さち **さち**
中央区下山手通2-17-13 331-7120

クラブ 千 **千**
中央区下山手通3-12-6 391-1077

club なぎさ **なぎさ**
中央区北長狭通2-11-2 331-8626

クラブ くるみふらん **くるみふらん**
中央区中山手通1-3-1 331-2854

club Moon Light **Moon Light**
三宮・生田筋Club 331-0157/Bar 331-9554

club コトブキ **コトブキ**
中央区三宮本通り 331-1875

★STAND & SNACK

スナック **CÉLINE**
中央区北長狭通2-5-1 タイシンサンセットビル5F 332-6020

レストランBAR **薔薇屋**
中央区北長狭通5-5-23 351-4311

サロシアルバトロス **アルバトロス**
中央区中山手通1-22-10 231-3300
大和ナイトプラザ2F

ブチヤンソン **トワ**
中央区三宮町3-8-12 332-1755
神戸アロー三宮センター街入口 スキトアーバル4F

スナック **雅子**
神戸市中央区北長狭通1-5-9 KCBビル3F 332-0051

Theater pub **トム・キャンティ**
中央区下山手通2-8-2 331-2122
神戸ワシントンビル1F

スタンドグラムール **グラムール**
生田筋ビル地階 331-4637

サロン **神戸時代**
中央区中山手通1-23-10 242-3567

カフェラウンジ **サヴォイ**
高架山側 テキの店北 331-2615

ミュージック **サンクトノーレ**
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 391-3822
北野店 中央区中山手通2-22-10 大和ナイトプラザ6F 321-3886

スタンド千里 **千里**
中央区下山手通2-11-1 331-4730
K. S. Mビル1F

舌洞でつさん **さん**
中央区北長狭通1-5-12 331-6778

STANDマッシュナダ **マッシュナダ**
中央区中山手通1-4-6 331-5587
エーベルビル4F

Adult Disco **セキーナ**
中央区加納町1丁目7-11 パーク北野ビル8F 332-0666

Wine and Something **珍地理屋**
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ1F 242-0288

レジャービル **ビール**
中央区北長狭通2-12-10 (生田筋) スーパーステーション
ランダムハウス45rpm 虎達功 葉絆 エスキヤカラブ

スタンドかてな **てな**
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F 331-1316

スナックアダルト **アダルト**
中央区北長狭通1-20-2 審尾ビル5F 321-5885

CAFE RESTAURANT & BAR **MARLENE**
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチャビル5F 331-9050

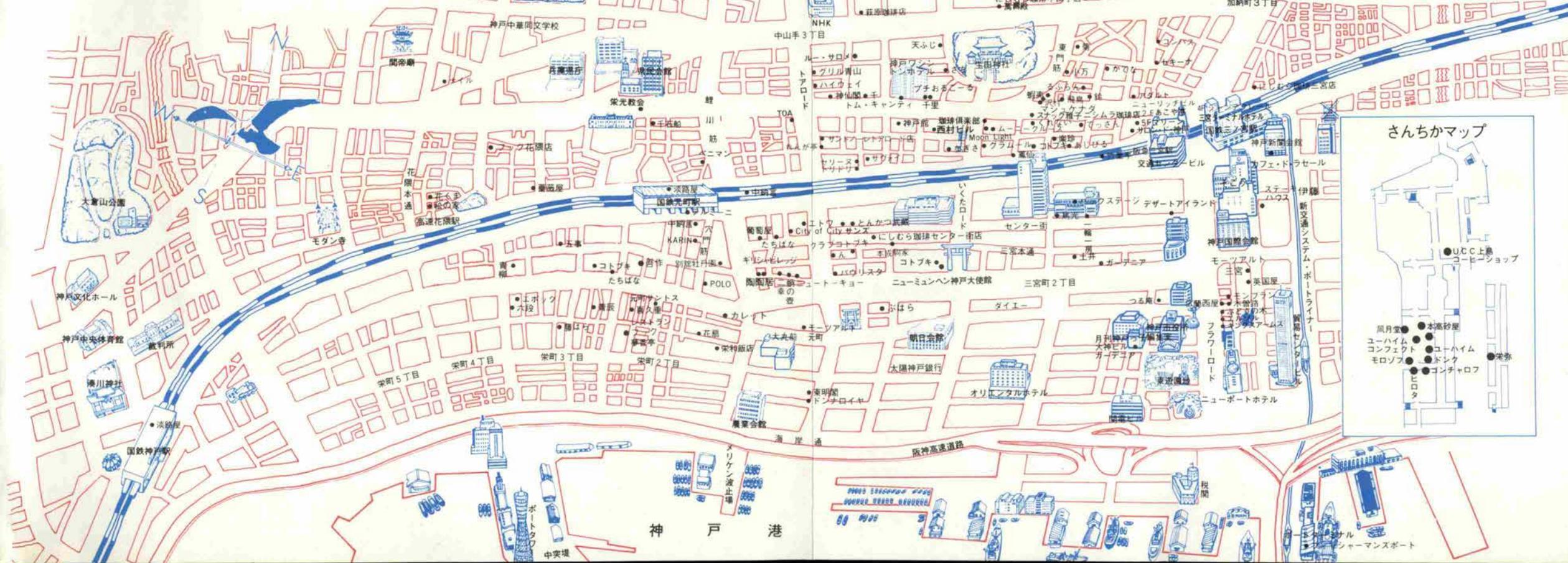
らうんじ沢 **村**
中央区中山手通1-4-10 平和橋ビル3F 332-2695

PRAIVATE SALOON **コートダジュール**
中央区中山手通1-22-11 ヒルサイドテラス4F 222-7222

会員制スナック **サロン・ド・神戸**
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチャビル10F 331-1547

KOBE うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP





美味一品



⑥

チョシ タン チヤウ ガウ ヨグ
おすすめの一品 松菌炒牛肉
(松茸と牛肉の炒めもの)



田邊芳美さん ザ・タナベカンパニー取締役
田邊篤二郎氏夫人

「亡父がこの店のファンで私も小学生の頃からよく伺ってました。結婚後しばらくは子育て等で外食の機会も少なかったのですが、近頃は友人家族と一緒にグループでよく食べに来ています。今は主人の方が会社関係の方々とちょっと中伺っているみたい(笑)」
王夫人の顔を見るとホッとするという田邊夫人は蟹、蝦、貝類が殊に好物とか。今日は香り高い旬の松茸の一品をお勧めです。

当店は本店も支店もございません!

広東料理
神戸元町別館牡丹園

元町通1丁目協和銀行北側小路西へ入る
☎331-5790・6611 11AM~8:30PM 第2.3水曜休(但し、12月は無休)

夢醒なる ビューティナイト

●トム・キャンティ
23
周年記念



瀬戸内美八

10月22日〈水〉

★ショータイム／

- 1部 ディナータイム PM6:00 ¥10,000
(テーブルの御予約はお早めに(078)331-2122 担当 柳、小松)
2部 フリードリンク PM8:30 ¥ 5,000
オードブル付

芸術の秋。

トム・キャンティ23周年記念の秋のプログラムは元タカラヅカのトップスターとして活躍されたルミちゃんこと瀬戸内美八さんを迎えてパンチのきいたショーを企画いたしました。今回はディナーショーです。ごゆっくりお楽しみ下さい。

Restaurant-Bar
Tom Chianti

トム・キャンティ

神戸市中央区下山手通2丁目11-5
神戸ワシントンホテル1F
(年中無休) TEL (078)331-2122

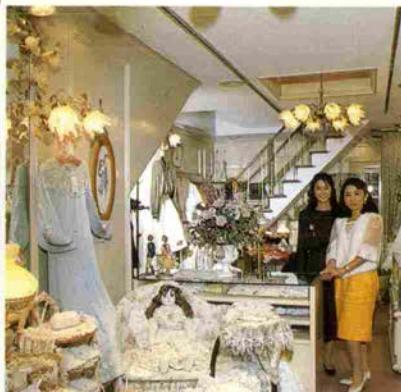


柳晴夫

〈題字 / 望月美佐〉

K
O
B
E
らしいオリジナルがここに!
S & H グループ

■ K O B E らしいオリジナルがここにノ



このアトリエからS&Hが生まれる(上左)素敵なランジェリーも揃うブレジール・ミア(上右)風格ある品揃えのブティック・ミア(下右)センスあふれるアルタモーダS&H(下中)トータルにコーディネイトできるミア・ドウ(下左)

秋冬のファッショニーズンに入つて、神戸の街を歩いてみるとさりげない感性が光る高級ブレタナ“S&H”的ブレートがあちこちで眼をひいた。

さつそく北野町界隈は、中山手
2丁目「プロインドリーブ」前の
交差点で、西側の歩道を

佐々木ビル三階にある有限会社S&Hを訪れた。紺地の白いテラーカラーとタイトなシルエットが神戸らしい。「いい素材で、シンプルなデザインと色彩感覚が特色かしら。創っている私たちが着てみたくなる服」とスタッフ

最初に、"S & H"をウインドーに見つけたのは北野坂の「ブティック・ミア」。ヨーロッパコレクションの風格ある品揃えの中に、十七色のシルクブラウスは"S & H"とてもおしゃれでアダルトだ。

向いにある白い館「フレジール・ミア」は小物やアンダーウエアが、観光客の人気を集め「S & H」の巻きスカートやブラウス、ワンピースが楽しい。

次は異人館通りのクラタ11号館
一階にある「ミア・ドウ」トータル
な品揃えは個性的。口伝えて、"S
& H"が確実にファンを獲えてい
た。最後は生田筋の「アルタモー
ダ S & H」。ジーンズ地の紅いワ
ンピースがおしゃれ。ブラウスや
スカートの単品もセンスがいい。
“着てみたくなる”ハイクオリテ
イな神戸発の"S & H"に注目!

Pブティック・ミア中山手1-1078(23)23776
○ブレジールミア中山手1-1078(22)1339
Hミア・ドウ 山本通2-1078(24)7125
Sアルタモード&H 生田筋1078(32)5670
有限公司 S&H 中山手2-1078(24)6611(代)

SHOPPING

秋の色 KOBEで
さわやかにショッピング



●べつ甲
太田べつ甲店
元町1番街山側 ☎ 331-16195

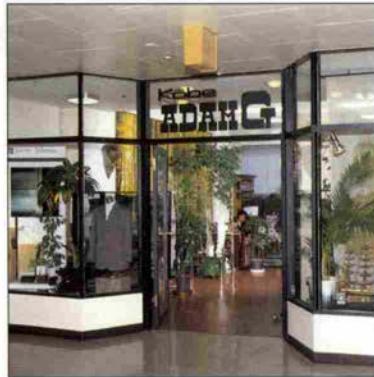
街を行くレディの衿元も、季節を取りしてさわやかに、そしてしつとりと……。



手づくりの心をつたえる
Cascade
本山駅前店 ☎ 451-8125
カスカード専属マイスターとして、
ベルリンから来日したシモン夫妻。本
場の材料と製法でお届けします。

●画材・額縁
トアロード・大丸前 ☎ 331-11309

お部屋のカーテンを替えて、壁面の
アクセント、ポスター、アートで色どり
を変えてみましょう。



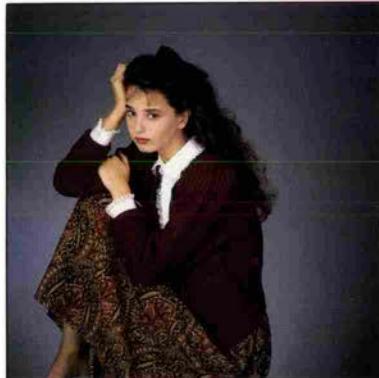
オーダーメイド・紳士服
アダムG(岡田 嶽)
神戸国際会館 3F ☎ 231-3575
秋冬物生地が揃いました。
御進物に、仕立券付服地をご
利用ください。

TAILOR
ADAM G
kobe

SHOPPING

おしゃれの楽しい季節

KOBE発のファッショントリニティ



セ・ン・ジ・エ・ル
セ・ン・タ・ー・街・2・丁・目
☎ 331-4358

• ブティック
大人の気品と感性あふれる、豊富な品揃えの“コルウ”。本格的な、男っぽいダンディズムをお楽しみ下さい。



中央区北長狭通3-12-14 ☎ 331-2020
大人の気品と感性あふれる、豊富な品揃えの“コルウ”。本格的な、男っぽいダンディズムをお楽しみ下さい。

C O L

• ファッショントリニティ



三宮セ・ン・タ・ー・街・西・角
誘われて D A N C I N G ! ジャズダンス等。。。お気軽にご見学下さい。

• ダンス教室
高木スタジオKOBE
☎ 331-7997



北野異人館通り ☎ 222-1140
小粋で洒落たショーツブルが19店。レンガ造りのファッショントリニティが、今や神戸・北野のファッションのメッカです。

ローズガーデン

• JUST HAVE A LOVELY TIME

MAZDA



私の、ファースト・レディに。



神戸マツダモータース

本社 / 神戸市兵庫区東柳原町 3番10号 (〒652)
TEL (078) 671-5011

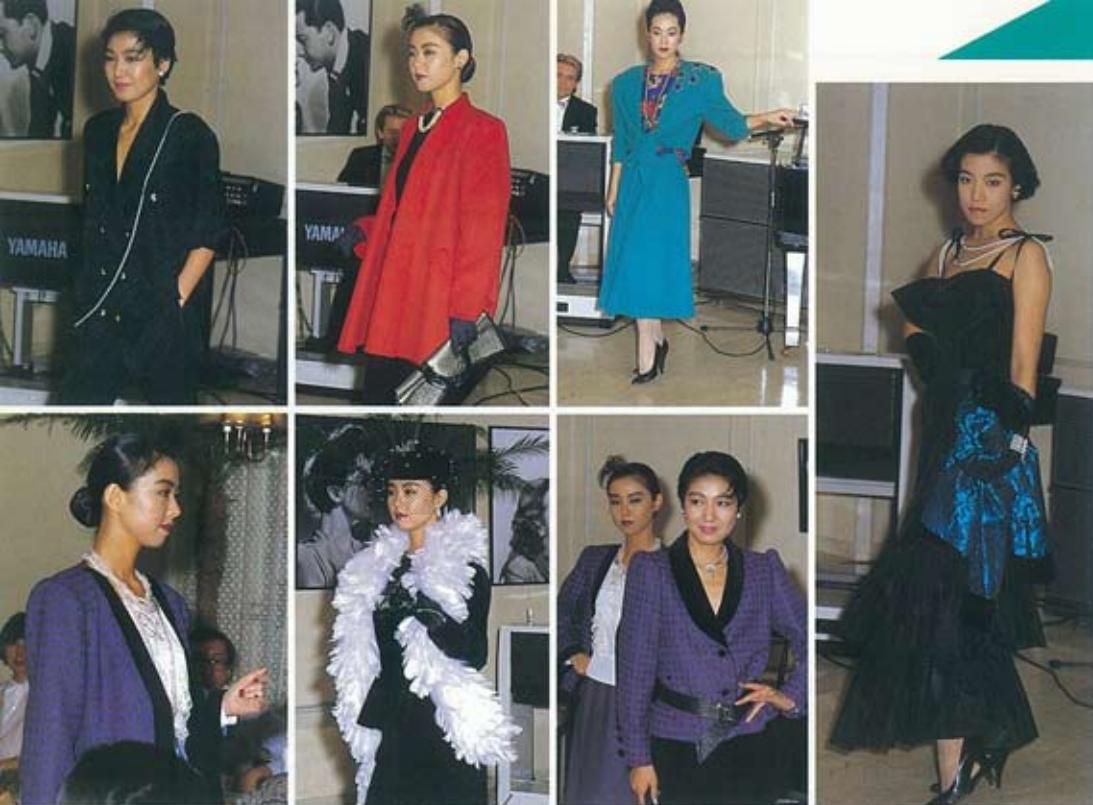
マツダオート兵庫

本社 / 神戸市兵庫区湊町 3丁目 2番 3号 (〒652)
TEL (078) 576-5061

ピースフル・コンフォート

包みこむ安堵感
新型 ルーチェ誕生

ベースシックなファッショனに パールをさりげなく飾りたい…



上段左より、モアレ柄のパンツスーツ、1枚仕立ての7分コート、アンゴラジャージーのツーピース、下段左よりウールスーツ、フランスベルベットのカクテルスーツ、ウールスーツ、右、シルクのカクテルドレスとロングジャケット。真珠はすべて木下真珠のオリジナル商品。



木下真珠の山本妙さん(右)と、魔女の大里最世子さん。

秋が来た。九月十六日、「カサブランカクラブ」で開かれた「レ・コレクション・パール・エ・モード」は、異人館俱楽部の三階にある「ブティック魔女」のモデルリスト大里最世子さんと、北野坂の株木由紀子によるショーアンサンブル。ステイタスのピアノとハモンドの曲が流れ、五人のモデルが次々とスポーティなタフチの皮のパンツ真珠の山本妙さんと一緒にジョイントして踊る。魔女の山本妙さんと魔女の大里最世子さん。

とビッグなブルゾンや、さりげないシティ感覚のタイトなスース、そしてアダルトなレトロ調の優雅なバーティドレスなど56点に、七色に変化するパールデザインをコーディネイト。マダム最世子は、「磨きあげたヘルシイなボディに、カッティングと、素材のよさで出来た服を着る人の個性で着るのが今年のファッション」。ハールの山本妙は「真珠も冠婚葬祭だけでなく、おしゃれな女達に語りかけた。ブティック魔女／北野町四ノ一ノ十二異人館俱楽部3F 03(22)1773坂パール通り 右側(四)3-170



パーティ、予約受付、飲みもの込3,000円より
夜のお食事は予約の上、お越し下さいますよう。

レストラン サルーテ RESTAURANT SALUTE

風見鶏の館を西へ50m・白い異人館の山側
14-13, 3chome kitano-cho chuo-ku kobe-city
phone BF/(078)251-9060 毎月曜休 AM11:00～PM9:00



生け花で知り合った佐々木美佐子さん(右)と佐野まゆみさん。佐々木さんのご主人が常連のこの店には、スタッフとマスターの気さくさに魅かれてよく来るそうです。

JAZZ & WHISKY HOUSE SATIN DOLL.

中央区中山手通1 富士産業ビル1F
☎ 242-0100 無休



「味」とシャレた雰囲気に趣向をこらしました。行き届いたサービスと落ちついたムードをぜひお楽しみください。



あこや亭 ボーアイプラザ店

中央区港島中町6丁目14番(ポートビアプラザH棟)

☎ 303-3232

営業時間：午前11:30～午後10:00まで 年中無休



シックムード漂う落ちついた店内で飲むサイフォンコーヒー。くつろぎの中に深い味わいが楽しめます。



LASSERE

中央区雲井通7丁目 神戸新聞会館1F
☎ 221-8155

T
A
S
T
E
—
F
K
O
B
E



あの伊勢エビ屋が
北野に移転OPEN！



神戸市中央区北野町4丁目6-8
TEL.(078)222-0766 〒650

■メニュー

カリブランチ ¥1,650

ディナーセット ¥3,300

(单晶)

オマール(アメリカンロブスター)

ストーンクラブ 他

- 2階…40名様迄パーティ承ります。
 - 専用駐車場あり。

營業時間 AM10:00~PM10:00

年中無休

